



7/15-16

夜空に大輪の花が咲く

十和田湖湖水まつり

十和田湖畔休屋で「第52回十和田湖湖水まつり」が開催され、よさこい演舞やガイドウォークなどのイベントが行われました。夜には、恒例の花火が湖面から打ち上げられ、夜空に大輪の花を咲かせて観客を楽しませていました。

16日はあいにくの雨でしたが、ビジターセンター内で行われたクラフト体験では、十和田湖畔にある木の実で工作を楽しむ子どもたちで賑わいをみせていました。



湖岸から見る人、花火観覧船に乗ってみる人などさまざまな観客を楽しませていました



スライドを使って、富士山に登っているときの写真や富士山登山の途中で会った著名人を紹介しました

7/11

還暦を過ぎてから富士山登頂回数1,400回以上

市民大学講座開講

市民文化センターで、市民大学講座の開講式と第1講座が行われました。第1回目は、佐々木茂良さんが「今日までの自分を超越して明日を生きる～いきいきシニアのセカンドライフ～」のテーマのもと、還暦を過ぎてから富士山に1,400回以上登頂した経験について講演しました。

市民大学講座は全7回で、さまざまな分野の講師による講座が11月16日まで行われます。

6/25

ふるさとを愛する心を育む

平成29年度「寺子屋稲生塾」開講

東公民館で、先人の開拓精神を学び、将来の十和田市を切り拓く人づくりを目的にした「寺子屋稲生塾」(小山田久塾長)の開講式が行われました。

開講式後の第1回目の講座では、元三本木小校長の吉田紀美男さんを講師に、稲生川の歴史を学び、その後、法量の稲生川取水口の水門見学をしました。最後に、農林総合研究所藤坂稲作部で稲の生育についての説明を聞き、お米のありがたさを改めて実感していました。



農林総合研究所藤坂稲作部で、職員の説明に真剣に耳を傾けていました



新作の「TOWADA ROMAN」は、東日本大震災からの復興、封印の願いも込められた作品です

6/17~24

現代美術館企画展

横尾忠則 十和田ロマン展 POP IT ALL

現代美術館で、企画展「横尾忠則 十和田ロマン展 POP IT ALL」が始まりました。

横尾さんの代表的なテーマは「瀧」ですが、1973年に十和田を訪れて「十和田湖 奥入瀬」を描いたことがルーツとも言われています。本展ではさまざまな様式を駆使した大作絵画の瀧のほか、十和田の街のための作品として本展開催に際して描かれた新作「TOWADA ROMAN」も展示されています。